

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

率先しよう

Weekly Report

創 立:1980年(昭和55年)1月10日
会 長:遠山 堯郎
幹 事:天野 正明
会報委員長:稲垣 豊
例 会 日:毎週木曜日 PM12:30~
会 場:ヒルトン名古屋
事 務 局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
T E L:052-211-3803
F A X:052-211-2623
M A I L:276nagoya@mizuho.rc.jp
U R L:http://www.mizuho.rc.jp/

第1321回例会

ロータリー親睦活動月間

2007年6月7日(木) 晴 第43回

司 会:梅村昌孝会場委員
齊 唱:「君が代」「奉仕の理想」
ゲ ス ト:名古屋熱田RAC 近藤網亮さん
ビジター:名古屋南RC 嶺木昌行さん

会長挨拶

遠山堯郎会長



イタリアでは小学校の頃から口頭試験があり、表現力が鍛えられるそうです。各自が議論する術を学びます。芸は盗むと言いますが、勉強も個人が創意工夫して体得するものだという考えでしょう!面白いのはその口答試験を公開しているそうです。自分の順番のときにリラックスして試験に臨めるということだそうです。次に、イタリアの高校最上級生は、人生初の試験関門が控えています。大学入試資格試験も兼ねているこの試験は人生における最初の試験でして、入試という制度のないイタリアでは、高校、大学もふつうは試験なしで入れます。進級試験とか中学卒業試験はありますが、それで将来がランク分けされてしまうという種類のものではなくて、受験にもまれ慣れた日本の高校生と違って、プレッシャーもなく、ずっとのびのび過ごしてきたイタリアの高校生が、生まれて初めて自分を試されるのが、高校卒業試験です。国語など共通必須科目に、数学やラテン語、歴史といった科目を中心に、三つの記述試験と口頭試験が四日間行われます。試験官は学内の4~8人位、100点満点中、60点以上が合格です。知識の有無も大事ですが、それよりも知識の応用力が大きく評価されるそうです。日本と大きく違うのは口頭試験の存在です。4人から8人の試験官を前に、おおよそ一時間弱の質疑応答が繰り返されるそうです。「口下手な学生は不利ですか?」と訪ねますと「知っていても表現できなくてはだめ、それは人生でも一緒でしょ!」と言われるそうです。その一方、イタリアの高校生がその受験に受かるか、否かは別にして、これを節目に若者が人生の森のより深くへと旅立って行くそうです。日本は、06年12月に戦後始めて教育基本法が改正されました。色々な批判もありますが、昔から「日の丸」は日本の国旗です。「君が代」は日本の国歌です。国を愛する気持ち、人を愛する気持ち、人の痛みが判る人、そんな教育をして欲しいと思います。私は、戦後の日教組があったために教育路線が違ったと思います。その大きな問題は、内申書、推薦入学が大きな障害になっている気がします。テスト一発の制度を作ったほうが、いじめ問題を含めて円満に解決する気がします。また、学校の新学期の始まりを世界共通に近い毎年9月にするとか、親の教育を含めて、早急に教育改革を真に求められる時代であると思います。

幹事報告

天野正明幹事

- ・本日、例会終了後、第12回理事会です。13時35分より4階「梅の間」にて行います。
- ・本日、ホテル観賞会です。熱田神宮南神池に19時集合、19時30分開始です。
- ・次週、次年度予定者会議です。13時35分より9階「つるの間」にて行います。
- ・クールビズ 6月~9月末まで。

出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員73名 出席49名 (出席計算人数51名)

出席率76.47%

5月31日は補填により 94.12%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西	6/21(木)	6/28(木)※
名古屋みなと		6/29(金)※
名古屋東南		6/27(水)
名古屋中		6/25(月)
名古屋名東	6/19(火)	
名古屋名北	6/20(水)※	6/27(水)
名古屋千種	6/19(火)※	6/26(火)
名古屋大須	6/21(木)	6/28(木)※
名古屋栄		6/25(月)◆
名古屋名南	6/19(火)※	
名古屋名駅		6/27(水)
名古屋昭和		6/25(月)
名古屋西南		6/28(木)
名古屋錦		6/26(火)※
名古屋空港		6/25(月)
名古屋清須	6/19(火)	
尾張中央	6/20(水)	
豊山一城北		6/26(火)

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員長

- ・瑞穂クラブの皆様には、父、嶺木一夫がいつもお世話になっております。父はこの6月で満91才になりましたが、いたって元気です。今後ともお願いします。 **名古屋南RC 嶺木 昌行さん**
- ・当クラブメンバーで大変良い経験をさせて頂きました。ありがとうございました。 **名古屋熱田RAC 近藤 網亮さん**
- ・今日の卓話は、皆様の耳をけがしますので、がまんしてください。 **宇佐美貞夫さん**
- ・宇佐美さんの卓話にニコニコ。 **守谷 巖樹さん**
- ・暑くなりました!!野崎さん、長坂さんと久しぶりにゴルフをしました。ヘタで皆様にご迷惑をかけました。 **吉木 洋二さん**
- ・6月5日熱田まつりに参加しました。小串さん有難うございました。 **岩本 成郎さん**
- ・6/5~6/7はミッドウェー海戦とノルマンディー上陸作戦のあった日です。 **宗宮 信賢さん**
- ・例会欠席が続きました。 **野崎 洋二さん**
- ・6月14日は結婚記念日です。 **高木 勝さん**

・昨日は妻の誕生日で、お花をありがとうございました。

岡本 忠史さん

・6月3日は女房の誕生日でした。きれいなお花をありがとうございました。1ヶ月だけ姉さん女房です!

入山 治樹さん

・5月8日結婚記念日を忘れており、妻に記念の請求をされ気がつきました。又、6月1日には、いよいよ古希を迎えました。

平野哲始郎さん

・6/26誕生日です。よろしくお祈りします。

長坂 邦雄さん

・今年も誕生日が来てしまいました。残念!!

遠山 堯郎さん

・私の誕生日に大変立派なお花をいただき厚く御礼申し上げます。

嶺木 一夫さん

その他

名古屋熱田RAC 近藤綱亮さん

マンモスフリーマーケットバザーの結果報告とお礼

今回の企画では当クラブを架空の企業と見立て、代表取締役社長を熱田RACの会長の古屋、プロジェクトの総責任者を近藤とし、新しい店舗を3店舗ポートメッセ名古屋に設立をするという設定で企画しました。この店舗をA・B・C地点と分け、その店舗ごとに支店長を据え、売り上げ目標は全支店で15万円と設定し、当日まで企画・運営を行いました。結果はA地点…売上92,930円 収益82,530円、B地点…売上99,650円 収益90,550円、C地点…売上82,550円 収益64,052円、全支店総合売上…275,130円、全支店総合収益237,132円でした。収益が予想していたよりも多く、使い道を間違えないように今現在慎重に議論中です。皆様からご提供いただきました商品が、残念ながらすべてを売りさばくことができなかったので、一部を寄付一部を売却し、収益金に加算したいと思います。お金を稼ぐことの難しさ、使い道の決断の難しさを実体験させていただいたことがとても良い経験になりました。本当にありがとうございました。



ホテル観賞会

6月7日(木)19時30分より熱田神宮南神池において、最後のホテル観賞会が盛大に行われました。

▼参加の子どもたち



卓話

宇佐美貞夫さん

「私の趣味」

私は血液型がAB型だからなのか、趣味が多く、どんなことでも好奇心を持っています。みなさんの前で自慢できるような話は何もありませんが、今続けている趣味の一つが社交ダンス(ソーシャルダンス)です。縁がありましてとてもはまっています。一昨年の瑞穂RC創立25周年記念式典のパーティーでみなさんの前でダンスを披露させていただきました。その時踊ったのは、中級程度のスローワルツで、バックミュージックには私の好きなテネシーワルツを演奏していただきました。社交ダンスは大きく分けて2つのグループに分かれます。イタリアの宮廷舞踏会からその後イギリスで発展した規律のあるダンス、いわゆる(スロー)ワルツやフォックストロット、コンチネン



タルタンゴというようなスタンダード系と、アメリカで黒人などから親しまれて発展したルンバや、チャチャチャなどのラテン系に分かれます。特にスタンダード系はイギリスで発展しただけあって、女性をきれいに目立たせるように男性がそれをフォローするように踊るといふスタイルです。逆に言えば、男性が相手の女性をいかに思い通りに動かすかというダンスです。服装もスタンダード系はタキシードや蝶ネクタイで踊ります。ラテン系はみなさんご存じのラテン系の服装です。日本では戦後アメリカの兵隊が持ち込んだ好ましからぬ風俗と思われていました。戦後社会の考え方が大きく変わり、膨大な余暇をどのように過ごすか考えたときに、生涯教育としての有効性が文部省にも認められるようになりました。スポーツとしての社交ダンスは皆が考えるようなみだらなものではありません。逆にみだらにならないようにダンス協会は努力しているようであります。私がお世話になっている柘植ダンス教室では、12月のクリスマスシーズンに毎年1回パーティーを開いています。私は毎年必ず出演するようにしています。

ダンス以外の趣味としてピアノやチェロをやっています。40代の頃からチェロの哀愁を帯びた音色に魅力を感じるようになって弾けるようになりたいなあと思うていましたが、なかなか先生が見つからずそれまではピアノを習うことにしました。4年程前にやっとチェロの先生が見つかり、月に2回ほどレッスンを受けています。ピアノ教室でも毎年発表会があって、そちらにも毎年出ています。ホールの舞台上上がると、先ず体が硬くなって頭が真っ白になってしまいます。実力の半分も出せなくなってしまいます。最近では発表会の前には練習の時にピアノの側に見物の人を置いて、見てもらいながら練習しています。今までに発表会で弾いた曲はサティの「ジムノペティ」やブラームスの「子守歌」エドワード・エルガーの「愛の挨拶」で、今年の7月の発表会の予定の曲はドビュッシーの「亜麻色の髪乙女」です。チェロの発表会では「荒城の月」を弾きました。

チェロの語源はイタリアのVioloncelloに由来するそうです。ピヨローネとは小さなチェロと言う意味で「チェロ」は「小さな」という意味です。ピヨローネとはコントラバスの元になった楽器で「大きなピオラ」と言う意味です。本来チェロはオーケストラや弦楽四重奏などの低音部の伴奏として使われていましたが、独奏楽器としても発達してチェロを主旋律とした曲も作曲されるようになりました。特にロマン派のドボルザークのチェロ協奏曲短調は評価の高い曲です。2005年5月に神戸で国際チェロコンgresというチェロ奏者1,000人だけのコンサートが開かれました。次回は演奏に参加したいと考えています。チェロの構造もバイオリンの構造と似ています。

本日は、今度の発表会で弾く曲を披露させていただきます。



今週卓話

6月14日(木)

会員卓話: 遠山堯郎さん

テーマ: 「民衆のために生きた土木技術者たち」

次週行事

6月21日(木)

第5回 CF(年次総会)